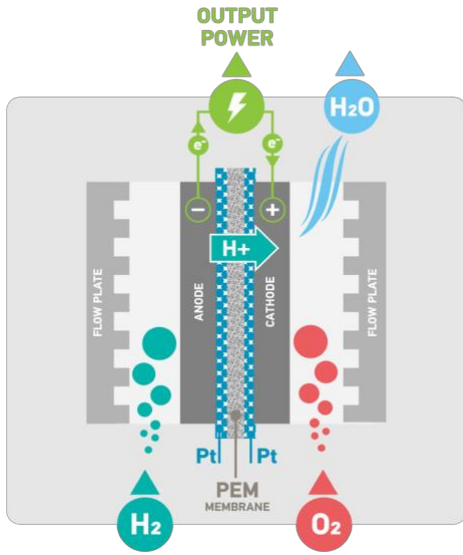


韓国の 水素戦略



プラチナベースの燃料電池の内部

水素研究の第一人者 Ock Taeck Lim 教授 韓国の水素経済の発展について語る

韓国蔚山大学 (Ulsan University) の Ock Taeck Lim 教授は 2006年に慶應大学で機械工学の博士号を取得した知名な研究者。現在は蔚山大学の研究施設である Research Centre for Next Generation Hydrogen Fuel Cell Vessels を率いて、韓国政府とヒュンダイ重工業のリサーチ戦略につながる複数のプロジェクトに従事している。Lim 教授はまた、国際エネルギー機関の技術協力プログラムの一つである Hybrid and Electric Vehicle Technology Collaboration Programme の副議長も務める。

水素経済の発展はなぜ韓国にとって重要か？

韓国の燃料消費量は世界第7位（2022年）で、その 97%を海外からの輸入に頼っている。韓国政府は燃料消費量の軽減に努めるとともに環境への負荷が少ないエネルギー源への転換も促進している。そこで、脱炭素化を進めながら経済成長も期待できる水素に着目し、2050年までに炭素中立を達成することを目標に、クリーンな水素エコシステムの確立を目指している。

政府の水素経済促進策は？

韓国政府は2021年11月に水素産業エコシステム構築のための戦略として「First Hydrogen Economy Transition Basic Plan」を発表し、その後様々な対策を実行してきた。

水素経済を国家の戦略的技術と捉え、税金面の優遇策の拡大、クリーン水素承認システムの導入など、中長期的な政策を通じて世界有数の水素経済の確立を目指す。さらに水素プロジェクトの補助金枠を広げて投資家が政府の援助を受けやすくしている。

水素輸入は韓国にとってどの程度重要か？

韓国は2050年までに、必要な水素の約 82%を輸入することを目指し、国内の企業はすでに戦略的な取引関係を通じてグリーン水素生産を行っている国々に投資している。政府はオーストラリア、カナダ、チリと水素生産に関して協力する計画がある。

韓国内の水素補給ステーションの普及度は？

政府は民間企業に対して水素補給ステーションの敷設を進めるための補助金を支給し、少なくとも一都市に一ヶ所敷設することを目指す。2023年11月の時点で国内には全部で 160ヶ所あり、2030年までにはそれを 660ヶ所に増やす計画だ。

今後5年から10年の燃料電池自動車市場の成長見通しは？

国際エネルギー機関の「Global EV Outlook 2023」にあるように、世界の燃料電池自動車は、2022年には前の年から4割増えて 7万2000台に達した。そのうち約8割は普通乗用車で、残りがトラックとバスの半々となっている。2022年に最も早いスピードで増えたのは燃料電池トラックで、約6割も増加。韓国政府は2030年までに2万1200台のバスを含む燃料電池自動車を30万台に増やす目標を立てている。

燃料電池自動車は持続可能で炭素排出の少ない移動手段として期待されるが、燃料電池自動車メーカーはいくつかの問題を抱える。中でも最大の問題は再生可能燃料が限られていることで、そのためにローコストのグリーン水素を利用するモビリティが制限されている。そのほか、長距離トラックのための水素燃料インフラが足りないことも問題だ。これには既存の天然ガス用のパイプラインを水素燃料輸送に利用することが考えられており、それによって燃料電池自動車の利用コストを抑えることが可能になるだろう。

また、その場で水素生産が可能になるモジュール式のグリーン水素技術も補給ステーションに水素を輸送するコストを削減する有力な手段で、燃料電池自動車の運用コストを下げることにもつながるだろう。



Ock Taeck Lim教授

Contacts:

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com

Edward Sterck, Research, esterck@platinuminvestment.com

Brendan Clifford, Institutional Distribution, bclifford@platinuminvestment.com

WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Ziyang ZENG (Sophia), CFA

APAC Lead, Product Partnership, szeng@platinuminvestment.com



免責条項: © 2024 World Platinum Investment Council Limited. All rights reserved. ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの名称、ロゴ、及び 略称WPIC は、World Platinum Investment Council Limitedの登録商標となる。当出版物のいかなる部分も、出版者の許可なく、いかなる手段にて複製、送付されてはならない。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルはいかなる規制機関からも投資アドバイスを行うことを承認されていない。当出版物は、有価証券あるいは金融商品の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。掲載写真は例示を目的としてのみ使われている。さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイト参照: <http://www.platinuminvestment.com>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。